

## フレキシブル回路基板材料「エスパネックス」 九州製造所の新工場竣工 7月に第6系列、12月に第7系列も営業運転開始

### 第6系列、第7系列の竣工について

当社(社長CEO:西 恒美)は、電子材料事業の主力商品であるフレキシブル回路基板用無接着剤銅張積層板(2層CCL)「商品名:エスパネックス」について、九州製造所(福岡県北九州市戸畑区)において新工場(第6、第7系列)の建設を進めてまいりましたが、7月1日に第6系列が営業運転を開始し、また第7系列も、予定通り本年12月に営業運転を開始できる見込みとなったことから、本日、竣工記念式典を開催する事といたしました。

「エスパネックス」はこれまで、木更津製造所(千葉県木更津市)において増強を重ね、現在、第五系列までが営業運転を行っており、その年産能力は550万㎡となっております。

これに、九州製造所の第6系列(年産150万㎡)、第7系列(同)が加わることで、累計の年産能力は850万㎡となり、世界トップの供給体制をさらに強固なものとしたしました。

また新工場は、木更津製造所で培った技術を取り入れた最新鋭の生産設備であり、いっそうのクリーン度の向上を図るとともに、集中監視システムや、製品の自動外観検査装置、部材の自動搬送機も導入するなど、優れた品質と高い生産性を実現しております。

このたび新工場を建設した九州製造所は、化学品や炭素材料などを製造する当社の主力拠点として、各種のインフラが完備されております。また立地面では、携帯電話をはじめとするデジタル機器の製造拠点として、近年成長著しい韓国・中国・台湾へ近いことに加え、24時間の通関ができる北九州市国際物流特区に位置しており、同市からの特区企業集積特別助成も受けることとなっております。

こうしたメリットに加え、国内での二拠点体制を築くことにより、複数拠点による安定供給体制が確立され、自然災害などによる設備トラブルのリスクを軽減することも可能となっております。

さらに、韓国・中国・台湾をはじめとするアジア各国や、欧米各国における携帯電話の高機能化の進展などを背景に、いっそうの需要の増加が見込まれることから、第8系列(年産150万㎡)および、第9系列(同)の建設についても、九州製造所構内での立地を有力候補として、その検討を進めております。

### COF向け新規グレードの開発について

現在主力となっております携帯電話のヒンジ部および小型LCD周辺向け2層CCLに加え、このほど大型LCDをはじめとする液晶ドライバー用のCOF(チップ・オン・フィルム)分野向け新規グレードを開発し、同分野へ本格的に進出いたしました。

開発した新規ポリイミドによるCOF用「エスパネックス」は、透明性に加え、低吸湿性、寸法安定性、微細加工性に優れた特徴を活かしつつ、狭い筐体への折り曲げ実装を可能とする低弾性化を実現したものです。COF向けには、これまでスパッタ法による2層CCLが主流となっておりましたが、新規ポリイミドの開発により、それと同等以上の評価を得られたことから、本格的な生産・販売を開始したものです。

COF向け2層CCLの需要は、大型液晶テレビの市場拡大によって大幅な伸びが見込まれており、当社は2008年をめぐりに、同市場における50%以上のシェアを目指してまいります。

### 電子材料事業の展開について

当社は、日本国内はもとより、米国(カリフォルニア支店)、台湾(台北支店)、中国(上海事務所)、韓国(韓国新日鐵化学株)などの各支店および現地法人等を拠点として、現地におけるお客さまへの営業・技術面でのサービス向上を図るとともに、積極的なマーケットの開拓を進めております。

成長著しい2層CCLの世界市場において、供給体制の強化・拡充、販売拠点の整備、新規技術の開発によって「エスパネックス」の拡販を強力に推進し、デファクトスタンダードの地位を揺るぎないものにしてまいります。

一方、当社の電子材料事業においては、現在主力の回路基板材料以外にも、トップシェアを誇る有機EL材料や、ブラックマトリックス用インクをはじめRGB(Red、Green、Blue)インクなどの液晶関連材料、ガラス基板代替を目指す高耐熱プラスチック基板などの「有機ディスプレイ材料」、次世代型実装材料や絶縁材料などの「半導体実装材料」についても、積極的な事業展開を進めております。

それぞれの分野において優れた商品を開発して市場へ投入し、世界トップの事業へ育ててまいります。

### 「エスパネックス」年産能力の推移

平成元年～	販売開始		
～平成14年5月	第二系列(木更津)まで稼働	120万㎡/年	
平成14年6月	第三系列(木更津)営業運転開始	180万㎡/年	
平成15年5月	新硬化プロセス(木更津)稼働	300万㎡/年	
平成16年2月	第四系列(木更津)営業運転開始	400万㎡/年	
平成16年4月	第五系列(木更津)営業運転開始	550万㎡/年	
平成17年7月	第六系列(九州)営業運転開始	700万㎡/年	
平成17年12月	第七系列(九州)営業運転開始予定	850万㎡/年	< 試運転中 >
時期未定	第八系列	1,000万㎡/年	< 検討中 >
時期未定	第九系列	1,150万㎡/年	< 検討中 >
平成16年2月	台湾・Crest technology 社委託生産開始	35万㎡/年	

以上